

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-9	中学校	社会	社会 (歴史的分野)	第1-3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
46 帝国	歴史 046-72	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き		

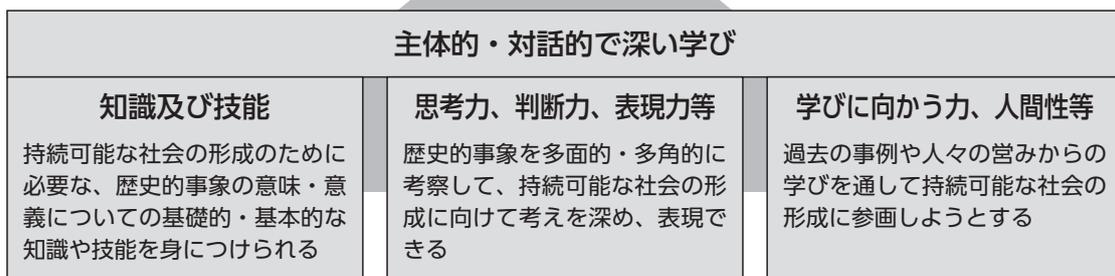
1. 編修の基本方針

教育基本法第2条に関する総合的な基本方針

本教科書は、教育基本法第2条の「教育の目標」を達成するために、以下の考え方で編修にあたりました。

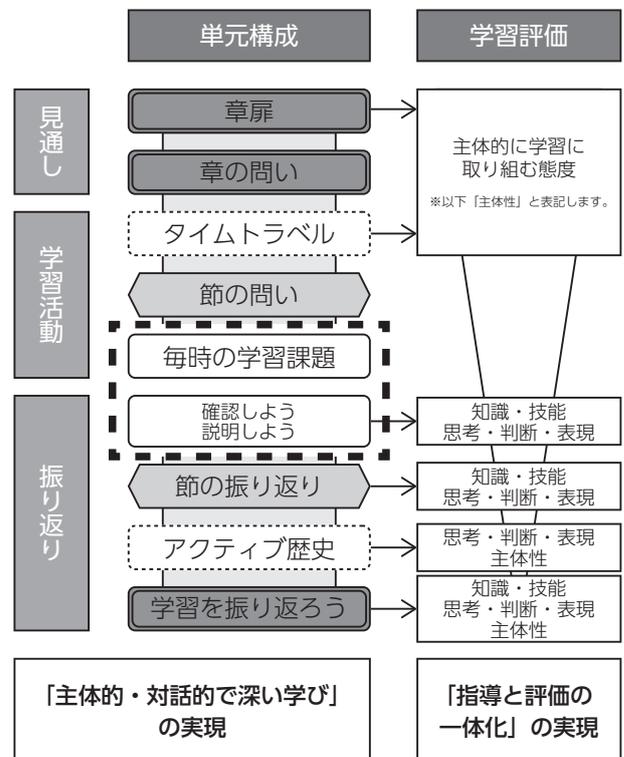
編修の基本理念

持続可能な社会の形成に参画する主権者となり、予測困難な時代を生き抜く力を育む



問いを軸にした単元構成の構造化によって、「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」を実現

- ・章・節・各本文ページそれぞれの冒頭では、学習する内容を問い（「章の問い」「節の問い」「毎時の学習課題」）で示し、生徒みずからが学習の見通しをもてるようにしています。また、それらの問いの対となるように、章・節・各本文ページの末尾に課題（「学習を振り返ろう」「節の振り返り」「確認しよう」「説明しよう」）を設けています。
- ・そして、それぞれの問いと課題では、協働的に学習する場面を設定しています。これらの構造化された単元構成と学習方法の工夫によって、「主体的・対話的で深い学び」が実現できます。
- ・それぞれの学習活動では、3つの資質・能力を特に育成する場面を設けることで、学習を見取ることができ、3つの観点に基づいた「指導と評価の一体化」が実現できます。



▲見通しと振り返りを軸とした本書の単元構成と学習評価との対応

教育基本法第2条第1号に関する基本方針

時代像イラストや理解しやすい本文、ビジュアルな資料により、意欲的に学びに向かう態度を育成

- ・大きなイラストで各時代の社会の様子を概観する特設「タイムトラベル」（全12テーマ）を、各時代のはじめに設けています。イラストの読み解きや歴史的な見方・考え方を働かせる活動を通じて、当時の社会への興味・関心を高め、

学びに向かう意欲を喚起します。

- 全体を通して、時代の特色が分かる写真や資料を豊富に掲載し、歴史的な背景が分かる丁寧な記述にすることで、生徒が興味・関心をもって学習に取り組めるようにしています。
- 巻頭「**歴史的な見方・考え方**」では、学習指導要領で示された歴史的な見方・考え方を、例を用いて紹介し、学習上での働きかけ方を確認・整理できます。また、「**見方・考え方アイコン**」を「タイムトラベル」や「学習を振り返ろう」などに設け、生徒の思考力を養います。

教育基本法第 2 条第 2 号に関する基本方針

資料を活用する活動や思考を深める活動を通じて、自主・自律の精神をもって創造に取り組む資質を育成

- 「**技能をみがく**」コーナーを、14 か所設けています。資料や図表の見方といった基礎的・基本的なスキルに加え、調査の方法や多面的・多角的に分析する力を身につけることができます。生徒がみずから歴史学習に取り組むために必要となる、基礎的・基本的な技能の習得を目指します。
- 巻頭「**考えを整理する方法～思考ツールを活用しよう～**」で、学習で有用な思考ツールを紹介しています。特設「**アクティブ歴史**」のパフォーマンス課題や「**学習を振り返ろう**」の単元のまとめの活動でも、思考ツールを多用しており、実際の活動を通じて、扱い方を学んでいきます。
- 「**人物コラム**」を、49 か所設けています。歴史上の人物たちの主体的な取り組みや、当時の社会的課題へのアプローチを学ぶことによって、自主・自律の精神を養います。

教育基本法第 2 条第 3 号に関する基本方針

資料を基にして議論を行う活動や現代社会の諸課題を考察する活動を通じて、社会参画に向けた態度と資質を育成

- パフォーマンス課題を設定した**アクティブ・ラーニング型**の授業を行える「**アクティブ歴史**」を 5 か所設けており、各種資料を基にした対話的な学習を通じて、主体的・対話的で深い学びを実現できるようにしています。特に近代以降では、当時の社会でみられた課題について、さまざまな資料や意見を比較・選択する活動を通して、社会の多様性を理解するとともに、自他を敬愛した公共の精神に基づく正義感や責任感が養えます。
- 「**学習を振り返ろう**」で「『**これからの社会を構想しよう**』への準備」を設け、各時代の特色と現代社会の諸課題を関連づける活動を行います。また、最終単元「**これからの社会を構想しよう**」では、これらの活動を整理した上で現代社会の諸課題について解決策を考えることで、歴史的な背景を踏まえた、社会参画への態度を養えます。

教育基本法第 2 条第 4 号に関する基本方針

人権や環境・エネルギー、防災などに関する過去の取り組みについて豊富に掲載し、持続可能な開発目標 (SDGs) の意義への理解を促進

- 持続可能な開発目標 (SDGs) と歴史の関連を意識できる「**未来に向けて**」を、特設で 2 か所、コラムで 63 か所設け、人権獲得に向けた取り組みや、過去に行われた環境保全、自然災害への対策などについて積極的に取り上げています。歴史上のさまざまな取り組みを知ることで、SDGs への理解が深まるように配慮しています。

教育基本法第 2 条第 5 号に関する基本方針

各時代の地域の営みや政治・経済と結びついた文化を豊富に紹介し、日本の伝統と文化への理解を促進

- 特設「**歴史を探ろう**」、コラム「**地域史**」では、歴史の主要な舞台とは異なる地域事例を紹介しています。各地の文化や産業の理解を促し、当時の社会の様子についてさまざまな視点で捉えることができます。
- **各時代の文化史**を、原則 1 単元 4 ページにわたって紹介し、文化財などの写真を豊富に掲載しています。また、政治・経済と文化を結びつけた本文から、歴史的な背景を踏まえて、日本の伝統と文化への理解を深めることができます。
- 日本と世界のつながりが重視される単元に、特設「**世界とのつながりを考えよう**」を設けています。日本の歴史に関連する世界の動きを理解することで、国際的な視野に立って自国の風土や特色を捉えることができます。

2. 対照表

教育基本法第2条の各号に定められた教育の目標を実現するために、教科書全体を通して次の配慮をしています。

本書の構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 歴史のとらえ方と調べ方	歴史の調べ方についての「技能をみがく」コーナーを充実させ、情報分析の技能を育成し、自主・自律の精神を育めるようにしました。(第2号)	4~13
	身近な地域の歴史を調べる学習では、地域の生活に根差す遺物を事例として取り上げ、郷土愛を養えるようにしました。(第5号)	8~13
第2章 古代国家の成立と東アジア	古代の日本の国づくりについて、為政者だけでなく、庶民からも捉えられるよう配慮しており、社会の形成に対する考えを深められます。(第3号)	26~27、 36~43、 52~55
	唐とイスラム帝国、シルクロードに関する本文記述を充実させ、ワイドな地図や唐の都のイラストを設けています。外国の歴史や文化に興味・関心をもてるよう配慮したほか、日本の歴史に大きな影響を与えた国際情勢の理解の促進に配慮しています。(第1・5号)	44~45、 50~51
第3章 武家政権の成長と東アジア	中世の「自分たちのことは、自分たちの力で解決する」という考え方の形成と、それに伴う人々のヨコの結びつきの成長について、丁寧に記述したことで、自他の敬愛に基づく主体的な社会参画への態度を養えるようにしました。(第3号)	64~67、 90~95
	琉球とアイヌ民族の歴史を本文で充実させたほか、「歴史を探ろう」やコラム「地域史」を各所で設けたことで、日本の伝統文化への理解を多面的・多角的に深められるようにしました。(第5号)	82~83、 88~89
	コラム「未来に向けて」などで、人権に関わる内容を扱い、立場の異なるさまざまな人々への理解を促すことで、生命や個人の価値を尊ぶ態度を養えるようにしました。(第3号)	92~93、 98~101
第4章 武家政権の展開と世界の動き	ヨーロッパの変革と海外進出に関する本文記述を充実させ、ワイドな地図を設けることで、日本の歴史に大きな影響を与えた国際情勢の理解の促進に配慮しています。ヨーロッパの発展に際してのイスラム文明からの影響も丁寧に記述し、社会の変化への多面的・多角的な理解を促しています。(第5号)	106~113
	特設「歴史を探ろう」で北前船による日本各地の結びつきや江戸の暮らしを扱ったほか、琉球とアイヌ民族の歴史を特設も設けて充実させたことで、日本の伝統文化への理解をさまざまな視点で深められるようにしました。(第5号)	130~133、 142~143、 154~155
	コラム「未来に向けて」で、江戸のリサイクルを扱うなど、自然との共生を考えるヒントとなるようにしました。(第4号)	155
第5章 近代国家の歩みと国際社会	欧米諸国の社会の「近代化」や「近代国家」の建設について、丁寧に解説したほか、ワイドな地図や産業革命期のイギリスのイラストを設けて、日本の歴史に大きな影響を与えた国際情勢の理解の促進に配慮しています。(第5号)	162~175
	「近代化」による社会の変化について、文明開化と都市・農村、北海道開拓とアイヌ民族、殖産興業と地方振興などの面を、特設も設けて充実して扱うことで、日本の伝統文化への理解を多面的・多角的に深められるようにしました。(第5号)	186~193、 196~199、 214~219
	領土の画定について、経緯を丁寧に記述し、それに関する開国以来の日本政府の取り組みが国際法に則ったものであることが理解できるようにしました。なお、経緯の詳細は、領土問題の発生に至る経緯と併せて、第7章のp.286-287で特設にまとめて通覧できるようにしています。(第5号)	194~197、 286~287

第6章 二度の世界大戦と日本	コラム「未来に向けて」を豊富に設け、さまざまな差別の撤廃など社会的な課題の解決に、実社会の人々が取り組む姿の描写を充実させたことで、社会的な正義感・責任感や公共の精神を養えるようにしました。(第3号)	233、235、241、255、263
	世論の影響から、社会の公正さが拡大された面と、戦争に向かう動きが加速された面との双方を、本文で丁寧に記述することで、周囲の空気に安易に流されず、多面的・多角的な考察のもと主体的に社会参画していく重要性を意識できるよう、配慮しています。(第3号)	238~241、252~259
	不景気や戦争のなかでの人々の暮らしや、戦争の惨禍について、丁寧に描写し、国際協調に寄与する態度を養えるようにしました。(第5号)	250~251 258~271
第7章 現在に続く日本と世界	人権や平和など、現代が抱える諸課題に関するコラムを各所に設け、より良い未来を創造するための知識と態度を育めるようにしました。(第3号)	283、285、289、293、301、303
これからの社会を構想しよう	歴史的な見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考える学習活動に取り組むことで、さまざまな立場や考え方へのまなざしを備えた社会形成の態度を養えるよう配慮しました。(第3号)	307~309
学びを深める工夫	特に意を用いた点や特色	該当箇所
	学習内容に応じた主題とパフォーマンス課題を設定した、「 アクティブ歴史 」を設けています。資料を用いた話し合い活動を通じて、課題に粘り強く向き合います。他者の考えを踏まえて、学びを深めます。(第1・3号)	34~35、156~157など 特設全5テーマ
	持続可能な社会の形成の事例を「 未来に向けて 」で取り上げています。「 環境・エネルギー 」「 防災 」「 人権・多文化 」「 平和・安全 」「 情報・技術 」「 伝統・文化 」の6テーマを地理・歴史・公民の3分野で扱い、SDGsの達成に向けて主体的に取り組む態度を身につけることができます。(第3・4・5号)	巻頭1~2など 特設全2テーマ 49、80、139、179、289など コラム全63テーマ
	各分野の学習で必要な技能を紹介する、「 技能をみがく 」を設けています。主体的に探究学習に取り組む自主・自律の精神を身につけるとともに、学習の基礎的スキルを習得することができます。(第2号)	10、56など 全14テーマ
	歴史的分野の発展的な事例を紹介する、「 歴史プラス 」を設け、生徒の興味をかき立てるとともに、学習内容の理解を更に深めることができます。(第1号)	87、243など 全37テーマ
	周囲との対話を促す「 対話アイコン 」を設けています。話し合い活動を通じて、自身の考えをより深めるとともに、他の意見を尊重する態度を身につけることができます。(第1・3号)	77、211ほか 随所
	社会的な見方・考え方を働かせるための視点を示す「 見方・考え方アイコン 」を設け、課題解決に必要な思考力を深めることができます。(第1号)	34、61ほか 随所
	「 資料活用アイコン 」を設け、統計や写真から情報を読み取る力を、日々の学習で身につけることができます。(第2号)	85、300ほか 随所
	地図帳の活用を促す「 地図帳活用アイコン 」を設けています。地形の読み解きや統計資料をもとに、地理的事象と関連させた、深い学びを得ることができます。(第1号)	96、140ほか 随所
	「 解説 」を側注欄に設けています。重要な概念やわかりにくい用語について丁寧に説明し、学習内容の理解を深めることができます。(第1号)	41、231ほか 随所
	学習に有用な 思考ツール を巻頭9で丁寧に紹介し、特設ページの話し合い学習でも積極的に使用しています。思考ツールを効果的に用いて、課題解決に取り組む力を身につけることができます。(第2号)	巻頭9ほか 随所

	<p>各時代を概観するワイドなイラスト「タイムトラベル」を設け、前の時代と比較したり疑問点を発見したりして、当時の社会への興味・関心を高めることができます。(第1号)</p>	<p>236~237など 全12テーマ</p>
	<p>世界各地のつながりや社会の様子を、イラスト・地図で捉える「世界とのつながりを考えよう」を設け、世界史の興味・関心を高め、現在につながる国際情勢の理解を促します。(第1・5号)</p>	<p>50~51など イラスト編2テーマ 78~79など 地図編4テーマ</p>
<p>人物コラム</p>	<p>「人物コラム」を掲載し、歴史上の人物の取り組みから、自主・自律した姿勢や個人の創造性が社会の変化につながることを実感できます。(第2号)</p>	<p>100、181など 全49名</p>
	<p>歴史上の地域事例を紹介する、コラム「地域史」や特設「歴史を探ろう」を豊富に掲載し、歴史的事象をさまざまな視点で捉えるとともに、地域の歴史を通じて、郷土を愛する態度を養うことができます。(第5号)</p>	<p>33、125など コラム全16テーマ 246~247など 特設11テーマ</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. すべての生徒が使いやすいユニバーサルデザインに基づいた編修

- ・特別支援教育の専門家からの助言をもとに、図版に背景色や囲み線をつけるなどして図版と本文を区別しやすくするなど、**インクルーシブ教育**へ配慮した編修を行っています。
- ・文字は、読みやすい**ユニバーサルデザインフォント**を採用しています。また、重要語句を示すゴシック体の太さやルビの見やすさにも工夫を凝らしました。
- ・配色は、色覚特性に配慮した**識別しやすい色づかい**となるように工夫しています。また、図版に模様や線、記号などを使用することによって、**色以外からも情報を読み取れる**ようにしています。
- ・学習者用デジタル教科書を発行し、ふりがなや音読、色の反転などの機能を付加しています。

2. 生徒の個別最適な学びを支援する QR コンテンツ

- ・学習内容の習得や生徒の調べ学習を支援するコンテンツを多数掲載し、**個別最適な学び**を支援します。
- ・教科書の学習内容とリンクした「タイムトラベル」「世界とのつながりを考えよう」のイラスト・地図や「学習を振り返ろう」「アクティブ歴史」のワークシートなどで、**学習内容の定着**を支援します。
- ・「用語解説」「巻末年表」のほか「NHK for School」や「リンク集」など、生徒が**みずから学習内容を深める**際の足がかりとなるコンテンツを用意しています。
- ・そのほか「他分野教科書リンク」「教科書を活用した学び方」「思考ツール・白地図」を掲載しています。

3. 指導しやすさ・学びやすさ向上のための取り組み

- ・小学校での学習や他分野・他教科と関連のある題材に「小学校・地理・公民・他教科の関連」や「小・地・公の関連アイコン」を示し、既習事項を踏まえて、物事を**多面的・多角的に捉える**足がかりを設けました。また、分野間・教科間での**カリキュラムマネジメント**を実施する指標となるようにしています。
- ・**1 見開き 1 時間**での授業を原則とし、適切な分量で学習計画を立てやすくしています。「学習を振り返ろう」も含めて、総授業時数を130時間（標準時間135時間）としています。
- ・単元が進むに従い、学習課題やまとめで問う内容をより高度にするなど、発達段階に配慮しています。
- ・男女のイラストで役割を限定しないなど、**ジェンダーの固定観念をもたない**ように配慮しました。

4. 使いやすく、環境に配慮した印刷・製本の工夫

- ・紙は軽くて丈夫で、写真や図版が鮮明にうつるものを使用しています。
- ・再生紙を用いた紙と国産米の米ぬかからつくられるインキを使用し、環境への配慮をしています。
- ・堅牢な造本方式を採用し、使用期間中壊れることがないようにしています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-9	中学校	社会	社会 (歴史的分野)	第1 - 3 学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
46 帝国	歴史 046-72	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

これからの予測困難な時代に対応し、持続可能な社会の形成に参画する力を育むために、この教科書では、特に以下の点に意を用いて編修しています。

特色1 「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」を実現する工夫

1. 「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」を実現する単元と問いの構成

①学習の見通しと振り返りに最適な単元構成

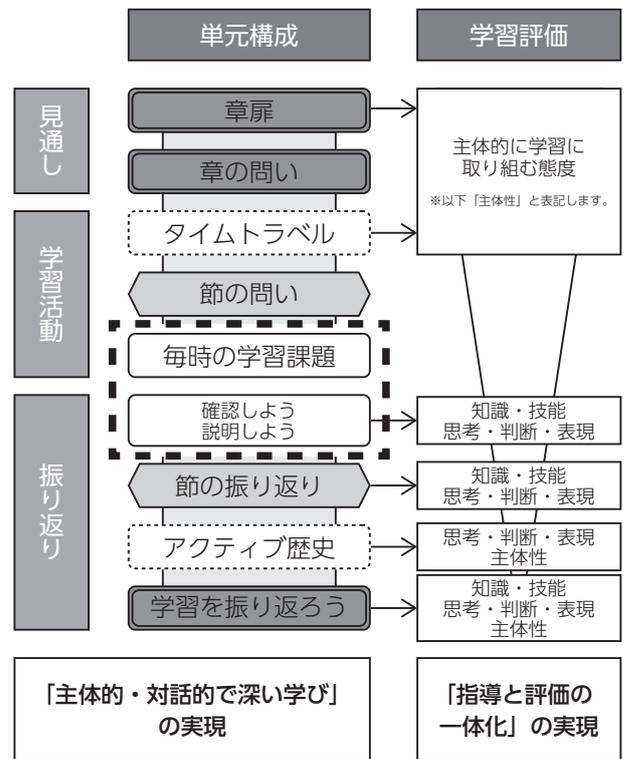
・章を基本単元とし、学習の見通しと振り返りがしやすい単元の構成にしています。学習の見通しと振り返りを通して、「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」を実現できます。

学習の見通し 単元のはじめに設定した「章扉」では、小学校の学習事項や前の単元で学習したことを踏まえ、単元の学びを見通す活動を行います。また、各時代のはじめに置かれた「タイムトラベル」ではイラストを通じて、当時の社会に対する興味・関心を高めることができます。

学習の振り返り 単元のまとめとして設定した「学習を振り返ろう」では、思考ツールや「対話的な学び」を通して、章の問いに取り組み、単元の学習を振り返ることができます。

「主体的・対話的で深い学び」の実現 「章扉」や「タイムトラベル」を活用し、学習の見通しを立てて学びを進めていくことで、「主体的な学び」を実現できます。また、「学習を振り返ろう」を活用し、思考ツールや話し合い活動を通して「対話的な学び」や「深い学び」を実現できます。

「指導と評価の一体化」の実現 「タイムトラベル」や「学習を振り返ろう」を活用して節の問いや章の問いに取り組むことで、習得した「知識・技能」やそれを活用した「思考・判断・表現」を評価できます。また、単元を通した見通しと振り返りによって、みずからの学びを調整し、粘り強く取り組む「主体的に学習に取り組む態度」を見取ることができます。



▲見通しと振り返りを軸とした本書の単元構成と学習評価との対応



▲章扉 (p.105)



▲学習を振り返ろう (p.158-160)

1) 時代の特色を考えるにあたって、次の作業を行って、あなたの年代を完成させよう。

2) 政治や国際関係の変化で重要であると考えられる出来事に影響を受けた、生活や社会の様子について書き、考え出した事柄は簡潔に説明しよう。

3) 「章の問い」に対する考えをまとめることで、大切にしたい出来事を書き添えたり、関係のある出来事どうしを矢印で結んだりしよう。

4) 地中から掘りかき出されるものを、年表の下の下書きから選ぼう。

5) 幕府・大名や農民が米の生産量を増やすために行ったことを、それぞれ別の学習事項を選び、「章の問い」に対する新たな考えをまとめよう。

① タイムトラベルを活用して振り返ろう。

タイムトラベル(向安・福澤)時代(江戸時代)を飛ばして、大きく変化したことや、重要だと感じたことを書き出そう。また、なぜそう感じたのか、理由も添えて説明しよう。

タイムトラベルを飛ばす際は、キーワードを設定し、見方・考え方を動かそう。

見方(見-福澤)をキーワードにする。こんなことに気づく。

見方(見-福澤)をキーワードにする。こんなことに気づく。

見方(見-福澤)をキーワードにする。こんなことに気づく。

② ほかの人と話し合っ「章の問い」を考察しよう。

③ 気づいたことや自分の年代に「マーク」したと、統一政権の誕生による社会の変化を考察するにあたって重要だと感じたことについて、あなたの考えを整理しよう。例えば右のように、それぞれの事項がどのように関連するのかを整理して考えよう。

グループになり、整理したことから特に大きな変化だと感じたことその理由を意見交換しよう。意見をまとめた上で、「章の問い」を考察して、そのことの影響や関係、結果や影響を整理しよう。

▲年表や地図を使った学習事項の確認 (p.158)

▲タイムトラベルの「振り返り」(p.159)

▲思考ツールを用いた章の問いの考察 (p.159-160)

②深い学びと学習評価を実現する構造化された問い

- 各單元には、單元を貫く問い「章の問い」、小単元の問い「節の問い」、毎時の問い「学習課題」、「確認しよう」、「説明しよう」を設定しています。役割と関連を明確にしているので、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力」の3つの資質・能力を着実に育成でき、それぞれの観点別評価を適切に行うことができます。

【構造化された問い (4章4節の場合)】

▶ 問いの種類と観点別評価

單元を貫く問い (章の問い)	全国を統一する政権の誕生によって、社会はどのように変化したのだろうか。
小単元の問い (節の問い)	なぜ江戸時代に産業や経済が発達したのだろうか。
毎時の問い (学習課題、確認しよう、説明しよう)	<p>【学習課題】 江戸時代の国内産業は、どのように発達していったのだろうか。</p> <p>【確認しよう】 幕府・大名や農民が米の生産量を増やすために行ったことを、それぞれ本文から書き出そう。</p> <p>【説明しよう】 国内産業の発達が社会に与えた影響はどのようなものだったか、説明しよう。</p>

問いの種類	観点別評価への対応			
	知	思・判	表	主
章の問い	○	◎	◎	◎
節の問い	○	◎	○	○
学習課題	◎	○	○	○
確認しよう	◎	○	○	○
説明しよう	◎	◎	○	○

◀ 学習課題、確認しよう、説明しよう (p.138-139)

2. 「主体的・対話的で深い学び」を具現化し活動型の学習を促す「アクティブ歴史」

- 特設ページ「アクティブ歴史」では、具体的なテーマを設定した活動型の学習を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現できます。

活動を促すさまざまなパフォーマンス課題 江戸時代に起きた仇討ち事件の処罰を下す、当時の世界の動きから明治維新後の日本が他国とどのような関係を築くべきかを考えるなど、時代の特色やその背景を考察するパフォーマンス課題を設定しています。ペーパーテストでは測りにくい「思考・判断・表現」や「主体的に学習に取り組む態度」の見取りに最適です。

対話を中心とした活動型学習 各種資料をもとに自身の考えをまとめ、生徒どうしで意見交換をすることで、対話を通じた「深い学び」を実現できます。

見方・考え方の活用 タイトル脇にはページ全体で働かせる「見方・考え方」を明示しています。「見方・考え方」を働かせる問いを、学習場面に併せて設定しています。

見方・考え方
3人の意見の背景となる、世界の動きに着目しよう。

ページ	アクティブ歴史
p.34-35	前方後円墳の役割を考察する
p.76-77	武士の暮らしから考察する
p.156-157	赤穂事件を考察する
p.204-205	『三酔人経綸問答』を考察する
p.248-249	「母性保護論争」を考察する

▼『三酔人経綸問答』を考察する (p.204-205)

アクティブ歴史 AL

『三酔人経綸問答』を考察する

幕府時代には、各地の藩が治めてきた幕藩体制が崩壊した。この時代の幕府と藩の対立関係は、幕府と藩の対立関係である。その対立関係は、幕府と藩の対立関係である。

幕府時代には、各地の藩が治めてきた幕藩体制が崩壊した。この時代の幕府と藩の対立関係は、幕府と藩の対立関係である。その対立関係は、幕府と藩の対立関係である。

持論発表 12 当時の立場になって議論、判断する

その後の幕府と藩の対立関係は、幕府と藩の対立関係である。その対立関係は、幕府と藩の対立関係である。

資料 当時の世界各地の様子

幕府時代には、各地の藩が治めてきた幕藩体制が崩壊した。この時代の幕府と藩の対立関係は、幕府と藩の対立関係である。その対立関係は、幕府と藩の対立関係である。

特色2 日本や世界の歴史に対する興味・関心を高める工夫

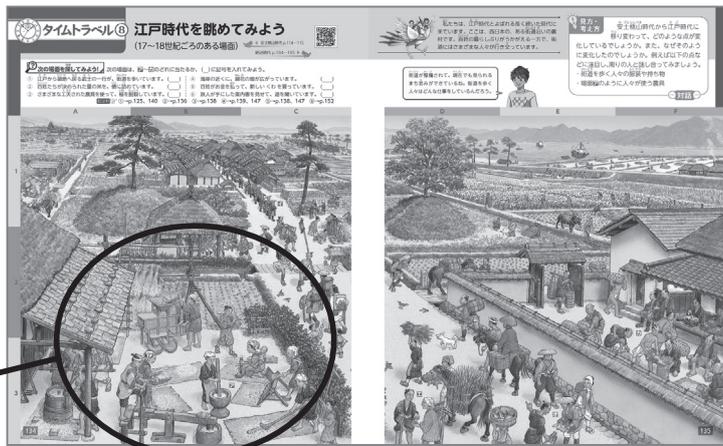
1. 各時代の社会の様子をイラストで概観し、生徒の気づきを促す「タイムトラベル」

- 大きなイラストで各時代の様子を概観する特設「タイムトラベル」(全12テーマ)を、各時代のはじめに設けています。イラストの読み解きや「見方・考え方」を働かせる活動を通じて、当時の社会への関心を高め、学習する時代の見通しを立てることができます。
- 本文ページに、関連する「タイムトラベル」へのリンクを置いており、学習を通じて、生徒が新たな気づきを得るように工夫しています。

一方、農民たちも、土地を深く耕すことができる備中鍬や、楽に脱穀ができる千歯こきなどの農具を使用し、干鰯や油かすなどの、

▶ 本文ページのタイムトラベルへのリンク (p.138)

▼ タイムトラベル⑧ 江戸時代を眺めてみよう (p.134-135)



2. イラスト・世界地図で、世界の歴史へ興味・関心を広げる「世界とのつながりを考えよう」

- 日本と世界のつながりが重視される時代では、特設「世界とのつながりを考えよう」を設けています。イラスト・世界地図を通じて、世界の歴史に興味・関心をもてるよう工夫しています。また、日本の歴史を国際的な視野で捉えることができます。

▼ 世界とのつながりを考えよう イラスト編①唐の都 長安 (p.50-51)



単元	世界とのつながりを考えよう
2章3節	8世紀ごろの世界 (地図編①)
2章3節	唐の都 長安 (イラスト編①)
3章2節	13世紀ごろの世界 (地図編②)
4章1節	16世紀初めごろの世界 (地図編③)
5章1節	産業革命期のイギリス (イラスト編②)
5章1節	19世紀ごろの世界 (地図編④)

3. 毎時の知識の定着を促す本文ページ

- 本文ページは、見開き1授業時数とし、115時数分を設定しています。年間授業時数の中で無理なく着実に学習を進めることができます。また、構造化された紙面構成によって、学習内容への理解を深め、知識を着実に定着できます。

興味・関心を高める導入資料 学習内容につながる**歴史的資料**です (①)。

学習内容を見通す学習課題 見開き全体の学習内容を見通す問いです (②)。

わかりやすい本文記述 因果関係が丁寧に説明され、**歴史的事象**が起きた理由や相互の関係を理解することができる本文です (③)。

知識と理解を深める問い 重要事項を確認できる「**確認しよう**」、言語活動で学習内容を振り返る「**説明しよう**」を設定しています (④)。

▶ 本文ページの紙面構成 (p.136-137)



- 各所に「資料活用アイコン」を設け、統計や写真から情報を読み取る力を、日々の学習で身につけることができます。また、地図帳の活用を促す「**地図帳活用アイコン**」を設け、地形の読み解きや統計資料から、地理的事象と関連させた、深い学びを得ることができます。

特色3 多面的・多角的な見方を養い、社会の多様性を認める態度を育成する工夫

1. さまざまな視点で歴史への理解を深める、文化史・社会史・地域史の充実

・コラム「地域史」や特設「歴史を探ろう」を豊富に掲載し、歴史的事象を中央の政治の歴史だけでなく、文化・社会・国際・地方などさまざまな視点で捉えることができます。

2. さまざまな人々の営みや連携・協働する姿をつかませる工夫

・「人物コラム」を49か所に設けています。歴史上の人物たちの主体的な取り組みや、当時の社会的課題へのアプローチを学ぶことができます。



▲地域史「世界の銀を支えた石見銀山」(p.113)

▶人物コラム「大浦慶」(p.181)



特色4 持続可能な社会の形成に向けた取り組みを促進する工夫

1. 持続可能な社会への視点を養う「未来に向けて」

▼未来に向けて よりよい社会を目指して (巻頭 1-2)

・持続可能な社会の形成に活かせる事例を取り上げた「未来に向けて」を、巻頭・巻末や本体各所に設けています。「環境・エネルギー」「防災」「人権・多文化」「平和・安全」「情報・技術」「伝統・文化」の6種類のテーマを、地理的分野・公民的分野と共通で扱い、持続可能な社会の形成に向けて、学びに向かう力を育成することができます。

・巻頭でSDGsの17の目標と、地球的な諸課題の解決に向けてヒントとなる過去の事例を紹介しています。



2. 対話的な学びを通じて歴史学習と地球的な諸課題を結びつける工夫

・「学習を振り返ろう」で時代の特色を表現したあとに、現在やSDGsとのつながりを考える学習を設けています。この気づきが、最終単元「これからの社会を構想しよう」で活用できるようにしています。学習した観点を踏まえてこれからの社会を構想するとともに、学びを公民的分野の学習へとつなげていきます。

▶これからの社会を構想しよう (p.308-309)



特色5 編修上の工夫

1. すべての生徒が使いやすいユニバーサルデザインに基づいた編修

・特別支援教育の専門家からの助言をもとに、図版に背景色や囲み線をつけるなどして図版と本文を区別しやすくするなど、インクルーシブ教育へ配慮した編修を行っています。

・文字は、読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。また、重要語句を示すゴシック体の太さやルビの見やすさにも工夫を凝らしました。

・配色は、色覚特性に配慮した識別しやすい色づかいとなるように工夫しています。また、図版に模様や線、記号などを使用することによって、色以外からも情報を読み取れるようにしています。

・学習者用デジタル教科書を発行し、ふりがなや音読、色の反転などの機能を付加しています。

2. 生徒の個別最適な学びを支援するQRコンテンツ

・学習内容の習得や生徒の調べ学習を支援するコンテンツを多数掲載し、個別最適な学びを支援します。

・教科書の学習内容とリンクした「タイムトラベル」「世界とのつながりを考えよう」のイラスト・地図や「学習を振り返ろう」「アクティブ歴史」のワークシートなどで、学習内容の定着を支援します。

- ・「用語解説」「巻末年表」のほか「NHK for School」や「リンク集」など、生徒がみずから学習内容を深める際の足がかりとなるコンテンツを用意しています。
- ・そのほか「他分野教科書リンク」「教科書を活用した学び方」「思考ツール・白地図」を掲載しています。

3. 指導しやすさ・学びやすさ向上のための取り組み

- ・小学校での学習や他分野・他教科と関連のある題材に「小学校・地理・公民・他教科の関連」や「小・地・公の関連アイコン」を示し、既習事項を踏まえて、物事を**多面的・多角的に捉える**足がかりを設けました。また、分野間・教科間での**カリキュラムマネジメント**を実施する指標となるようにしています。
- ・**1 見開き 1 時間**での授業を原則とし、適切な分量で学習計画を立てやすくしています。「学習を振り返ろう」も含めて、総授業時数を 130 時間（標準時間 135 時間）としています。
- ・単元が進むに従い、学習課題やまとめで問う内容をより高度にするなど、発達段階に配慮しています。
- ・男女のイラストで役割を限定しないなど、**ジェンダーの固定観念をもたないように**配慮しました。

4. 使いやすく、環境に配慮した印刷・製本の工夫

- ・紙は軽くて丈夫で、写真や図版が鮮明にうつるものを使用しています。
- ・再生紙を用いた紙を国産米の米ぬかからつくられるインキを使用し、環境への配慮をしています。
- ・堅牢な造本方式を採用し、使用期間中壊れることがないようにしています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1章 歴史のとらえ方と調べ方 1 節 歴史の流れと時代区分 2 節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた	A A (1) A (2)	p.2-13 p.2-7 p.8-13	11
第2章 古代国家の成立と東アジア 1 節 人類の登場から文明の発生へ 2 節 東アジアのなかの倭 (日本) 3 節 中国にならった国家づくり 4 節 展開する天皇・貴族の政治	B (1) B (1) B (1) B (1)	p.15-62 p.16-25 p.26-33 p.36-51 p.52-59	20
第3章 武家政権の成長と東アジア 1 節 武士の世の始まり 2 節 武家政権の内と外 3 節 人々の結びつきが強まる社会	B (2) B (2) B (2) B (2)	p.63-104 p.64-75 p.78-89 p.90-101	16
第4章 武家政権の展開と世界の動き 1 節 大航海によって結びつく世界 2 節 戦乱から全国統一へ 3 節 武士による全国支配の完成 4 節 天下泰平の世の中 5 節 社会の変化と幕府の対策	B (3) B (3) B (3) B (3) B (3)	p.105-160 p.106-113 p.114-123 p.124-133 p.134-145 p.146-155	21
第5章 近代国家の歩みと国際社会 1 節 欧米諸国における近代化 2 節 開国と幕府の終わり 3 節 明治政府による近代化の始まり 4 節 近代国家への歩み 5 節 帝国主義と日本 6 節 アジアの強国の光と影	C (1) C (1) C (1) C (1) C (1) C (1)	p.161-226 p.162-175 p.176-183 p.184-193 p.194-203 p.206-213 p.214-223	26
第6章 二度の世界大戦と日本 1 節 第一次世界大戦と民族独立の動き 2 節 高まるデモクラシーの意識 3 節 戦争に向かう世論 4 節 第二次世界大戦の惨禍	C (1) C (1) C (1) C (1) C (1)	p.227-274 p.228-235 p.236-247 p.250-261 p.262-271	19
第7章 現在に続く日本と世界 1 節 敗戦から立ち直る日本 2 節 世界の多極化と日本の成長 3 節 これからの日本と世界	C (2) C (2) C (2) C (2)	p.275-306 p.276-283 p.284-297 p.298-303	14
これからの社会を構想しよう		p.307-309	3
			計 130 時間